

第2回 衆議院議員解散総選挙

《簡単な日程などの概要》

11月21日解散、12月2日公示、12月14日投開票。解散から投開票日までが23日と2012年以来の師走決戦となった。なお、今回から小選挙区295議席、比例区180議席の475議席を争うこととなる。ちなみに、同日に最高裁判所の裁判官の「国民審査」も行われることも知っておきたい。

《解散に踏み切った経緯》

2012年から、第2次安倍内閣として進めてきた「アベノミクス」によって経済の再生を図ってきた。経済再生をして、消費税の増税に踏み切ろうとした。事実、2014年4月には8%となり、第1段階の値上げは完了した。今度は2015年10月の10%が目標であったが、4～7月期のGDPが年率換算の7.1%のマイナスとなり、さらに7～9月期も1.6%のマイナスとなり、2期連続の悪化ということで、安倍総理は消費税増税を2017年4月に延期した形となった。今回の選挙はこのことに信を問う、つまりは「アベノミクス」についての信を問うという見方も可能であろう。

今回の選挙に関して、野党などからは「大義がない」という批判が出ている。

(参考) 衆議院の解散に関する規定は、憲法69条(不信任決議の可決に伴う)、憲法7条(天皇による国事行為によるもの)である。

《今選挙の主な焦点》

- ① 消費税8%から10%への引き上げは必要？また先送りに関しては？
- ② これまでの「アベノミクス」の評価は？集団的自衛権は？特定秘密保護法は？原発再稼働は？

(参考)

12月2日の公示日より、新聞やテレビ放送に関しては厳しい規制がかかる。ただし、インターネットやツイッターなどに関しては前回の選挙と同様に公示日以降に関しても更新が許可されている。

(約束) 12月14日、開票速報を必ず見よう！！